



運賃弾力性に着目した「休日学生限定!往復乗車券」販売による利用促進に向けた取り組み

～山鹿市と熊本市中心部を結ぶ路線を対象として～

発表者：西園知哉
産交バス(株)(営業企画課共同経営推進室担当)

1. 背景・目的

2019.9.14 利用促進に向けた機運の高まり



九州産交グループ第二創業の核となる大型複合施設開業
バスターミナル・ホール等も併設



無料の日
桜町BT 山鹿方面
溢れるお客様
普段の約3.5倍!!

山鹿-熊本線について



路線データ

- 便数：26便/日/片道(日祝ダイヤ)
- 輸送人員：約1.2千人/日(日祝ダイヤ)
(内山鹿~熊本間OD15%)
- 所要時間：約1時間10分~1時間20分
- 路線長：約30km
- 片道運賃：950円(山鹿BC~桜町BTの場合)

※山鹿市は人口約5万人の都市で温泉が有名
熊本市への公共交通はバス独占

無料の日では山鹿方面が大人気! 長距離路線が故に運賃弾力性が高いのでは!?
一般的に運賃弾力性が高いとされる「学生」&「非日常目的」&「休日」に着目し利用促進にチャレンジ!!

2. 運賃弾力性の計測のための調査分析

アンケート調査と分析方法

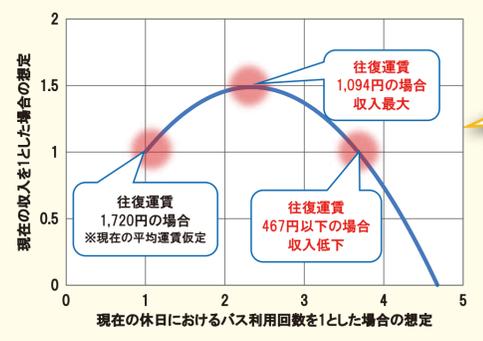
ご協力	山鹿市内の県立高校様(鹿本高校・鹿本商工高校・鹿本農業高校)
期間	2020年1月9日~1月31日
方法	Googleフォームを用いたWEBアンケート(任意回答で特典抽選付き)
設問内容	休日バス利用状況・利便性評価・運賃サービス向上時のバス利用想定等
回収率	約11.4%(配布枚数は約1,000枚)

分析方法	被説明変数	説明変数①	説明変数②	説明変数③
重回帰分析	休日のバス利用回数(1ヶ月換算)(定期券以外)(往復を1回)	山鹿-熊本線における往復運賃	利便性評価(4段階評価)	ヘビーユーザーダミー(現在、月4回以上利用に1)

※往復運賃が変化した場合の利用想定は①現在 ②1,000円 ③500円の3ケースを質問
※運賃が変化しても利用回数が変化しないヘビーユーザーをダミー変数で表現

パラメータ推定結果と収入シミュレーション

説明変数	パラメータ	t値
定数項	3.2295	8.5190
往復運賃(円)	-0.0023	-15.2084
利便性評価	0.4204	4.1394
ヘビーユーザーダミー	3.6928	14.5278
自由度調整済み決定係数	0.5771	
サンプルサイズ	342(114×3ケース)	



~アンケート調査や分析から分かったこと~

山鹿-熊本線を休日利用する学生の運賃弾力性は高い

- 運賃を適切に引き下げることで利用促進と増収につながる可能性を定量的に示せた
- 利用回数が多いほど利便性を評価している
- きっかけを作ることで利便性を認識してもらえる!?

3. 「山鹿-熊本線休日学生限定! 往復乗車券」の販売と効果

販売内容・PR方法・販売実績



- ~販売内容~
- 山鹿市内の学校様へチラシ配布(3回)
 - 車内や営業所にポスターの掲示
 - 山鹿市様の広報誌へ掲載(3回)
 - SAKURA MACHI Kumamoto SNS掲載
 - 産太くんが桜町バスターミナルに出動
 - 辰杏珠サクラマチ店様より特典提供(期間限定)



販売時アンケートより推計した効果(2020.7.25~2021.8.8現在)

- バス利用頻度が低い or 利用していない学生さんも多く獲得できた
 - 約7割が往復券をきっかけにバスへ乗車したことが分かった
- 今回、往復券がバスをご利用になる1つのきっかけになりましたか?それとも違いますか?

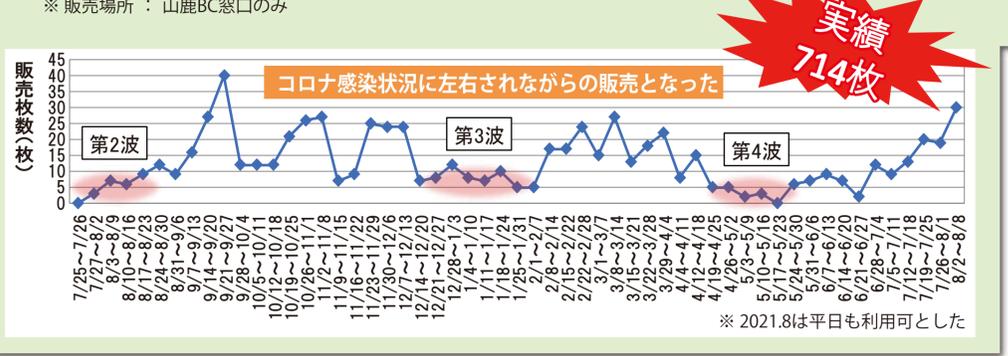


売上高 71.4万円

増収効果 プラス34.6万円

利用促進効果 プラス500人

※利用促進効果：往復券がきっかけで乗車した学生さんの数
※増収効果：往復券がきっかけの場合は+1,000円 きっかけでない場合は-720円(平均運賃仮定)



4. 結論

- ✓ 運賃弾力性に着目して利用促進・増収に結びつけることができた
- ✓ 地域の皆様(学校・自治体・商業施設)にもご協力をいただきPR効果UP